

平成二十六年

おおほらい

「夏越の大祓」

七月二十六日（土曜日）
七月二十七日（日曜日）

「夏越の大祓」とは、この半年間の日常生活において、知らず知らず犯したであろう罪や過ち、心身のけがれを祓い清めるための神事です。

古来より、宮中や神社では恒例の祓いとして行われ、平安時代初期の「延喜式」にも記載されております。

茅の輪くぐり

二の鳥居に設置

茅草を束ねて作られた輪を八の字を書くように三度くぐり抜けることにより、心身の罪穢れを祓い清めるといふ神事。茅の輪の起源は「備後風土記」に蘇民将来という心正しい者が善行をして、神様から茅の輪をもらい腰につけ、疫病から救われたと言う話が書かれております。



ひとかたしろ 人形代祓い

人形代納め箱は本殿前に設置

自分の罪穢れを託した人形代を神社に納め、祓い清めてお焚き上げしてもらう神事。

①頭より足先まで丁寧な体を人形代で撫でる。
②息を吹きかけることで自分の罪穢れを移します。

袋の裏に、住所、氏名、生年月日を明記し、家族分をまとめて初穂料と一緒に袋に入れ、神社に納めます。後日、郵送にてお札等をお送り致します。

①全身を撫で
罪・穢れを移し
かえます。



②人形に息を
吹きかけます。



※家族分の人形代の追加等
気軽にお申し付け下さい。
※遠方にお住まいの方や、
都合で当日来社できない
方は、前日後日郵送くだ
されても結構です。

夏越大祓式

今年より両日ともに
午後七時より齋行

神職と一緒に「大祓詞」を声高に奏上し、清浄な心身を蘇らせ、さらに、宮司による「魂振り」の後、紅色の人形代で活き活きと躍動する活力を取り込む神事。

ご来社の方は、少し前に本殿前にお集まり頂き、是非、ご参列頂きますようご案内致します。

八坂祭(祇園祭)

玉村八幡宮参道及び

国道三五四号

境内には露店が並び、四・五・六・七丁目の若連を中心にして、四台の山車が祭囃子を奏でながら日光例幣史道を曳き廻ります。近年、例大祭用に作られた町指定重要文化財の五・六丁目旧山車が曳かれます。見せ所の一つの四町会が集結し祭囃子を奏で合う「ぶっこみ」は見事です。

群馬県佐波郡玉村町下新田一番地

玉村八幡宮

電話 (0270) 6511305

http://www.tanamurahachimangu.net

